

## ◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO法人 くまがや地域通貨研究会

26A-22

代表者：代表理事 出浦 尚明

URL : <https://ameblo.jp/kuma-emi/entry-12826160645.html>

### 1. 活動が必要とされた状況

地球環境を巡る課題の中でも認知度が低い「生物多様性」保全の大切さについて、子どもたちや大学生が楽しく体験を通して学べる機会を提供するなど、まずは、市民のみなさんに「知っていただき、関心を持っていただくこと」が必要と考え、2006年からプロジェクト(生物多様性を考える イエローハンカチーフ・プロジェクト)に取り組んできました。

### 2. 活動の内容(実施時期、参加人数、活動内容など)

日本国内で「生物多様性」の危機をもたらす一因とされる「外来種などの持ち込みによる生態系のかく乱」の顕著な例として、荒川河川敷に繁茂し、オギ、ススキなど外来種と競合し、衰退要因となっている生態系被害防止外来種(重点対策外来種)「セイタカアワダチソウ」に着目、大学生ボランティアと共に花を採取しました。

そして、児童養護施設で暮らす子ども達と交流しながら、400枚の「黄色いハンカチ」に草木染し、園庭一杯に干す等の体験的な環境学習活動を行いました。

また、完成したハンカチ及び生物多様性保全の大切さを啓発するチラシは施設へ贈呈し、市民に配布しました。

#### (1) 実施日・場所

- ①花採日 10月21日(土) 熊谷市内 荒川河川敷
- ②体験日 10月22日(日) 児童養護施設江南

#### (2) 参加人数

- ①6人
- ②40人(児童職員22人・ボランティア18人)

#### (3) 活動内容

- ①セイタカアワダチソウ採取 450袋×15
- ②黄色いハンカチづくり 400枚・どんぐりクラフト

### 3. 活動の成果

子どもたちに体験的な学びの機会を提供し、各施設の子どもたち、大学生や市民に400枚の黄色いハンカチと啓発チラシを配布することで、「外来種」や「生物多様性」に関心をもつ一助になったものと考えています。

### 4. 今後に残された課題

生物多様性に関しては、SDGsに加え、比較的新しい目標である「ネイチャーポジティブ」についても関心を喚起できるよう、マスコミへの発信など工夫しながら当プロジェクトを継続実施していきたいと考えています。

